

## 無線再開そして240グループとの出会い

JM1LZT 富山俊一

今考えても、それは偶然というには、あまりにも必然めいたものでした。

30年以上さぼっていたアマチュア無線を「またやってみよう」と決意したのが2017年の夏。決意したとはいえ、現在のアマチュア無線界の状況がよくわからず、とりあえずCQ誌を読み、ネット検索をし、学生時代の仲間に近況を尋ね、9月のハムフェア会場で激安だったFT-991Aを購入。当初は昔のリグ(FT-101Z)をレストアして使おうかとも考えたものの、デジタル時代には「ちょいとキツイ」と認識。気持ち的には「HFでDXをバリバリ」ではあったものの、庭と称する猫の額があった実家時代と違い、今はしがない集合住宅暮らし。お約束の「アンテナどうする問題」の壁は厚く、あれやこれや構想し、なんとかベランダに「梯子タワー(?)」を建てる案で決着。いざアンテナ購入となり、長らくご無沙汰だった秋葉原に行ってみると「リアル店舗がない」ということに愕然。それでも辛うじて昔なじみのロケットが健在で、自分なりに調べてこれならばと決めたMLA(マグネチックループアンテナ)を購入。その後も小物の買い出しで、秋葉原とホームセンターに通いつめ、なんとか電波が出せる状態になったのが12月のあたま。

たまたま友人が5Wにちょっとしたペディションに出ていた時期とも重なり、「再開1stQSOはDX♪」と、わくわくしていたものの、Facebookで打ち合わせしながらのスケジュールQSOにもかかわらず、バンドコンディションもさることながら、当方の設備の貧弱さ故か、あっちのバンド、こっちのモードとさんざんトライしたにもかかわらず、結局QSO不成立。その後40mで超ローカルの方と再開1stQSOを「順当に」済ませ、同時に「短波帯のコンディション(特にハイバンド)は最悪」ということによりやく気付き、年内は仕事の多忙さもあり無線をやらず、年明けにQSOパーティーで若干「黄昏気味に」6mをワッチしていた時に「事件」が起きたのです。

「ダメもと」感いっぱい「静かすぎる」6mをワッチしていたところ、いきなり59プラスの信号が。わが耳を疑いながらコールしてみると、どうやらお相手の方は昭島とのこと。再開後、初めて私の電波が「八王

子の外」に出て行った瞬間であり、同時に JJ1DLU 局との出会い=240 グループとの出会いの瞬間でもありました。

再開間もない「浦島太郎状態」の私に、親切に「今どきの状況」を教えてくださいただけではなく、「50.240 で月曜にロールコールをやっている」旨教えていただいたことに、本当に運命を感じます。

初めてのチェックインの時、「モバイルグループ？どんな人たちなんだろう？」と一抹の不安を抱えつつ実際にチェックインし、初めてのロールコールが終わった時には「次の月曜が楽しみ♪」な自分がそこにいたのは「必然」だったと思います。

その後、総会や土曜ミーティングにも参加させていただき、みなさんのお人柄を知れば知るほど「この仲間になりたい」という思いは強くなる一方です。

電波伝搬実験用に XYL には内緒でモバイル用のリグ、アンテナをそろえ（もちろん、すぐにばれましたが・・・）富士山まで行って「無線三昧」を楽しんだ時、「30年の空白はあったけど、完全にやめないでよかった」と心底思ったものです。

当初のイメージ「HFでDXをバリバリ」とは全く違う、しかし思いがけない面白さのある無線生活を今は堪能させてもらっています。

どうやら、今度こそは「やめないで」、終生の趣味として無線を続けていけそうです。

マチュア無線が本質的に「人とつながる喜び」を旨としていることを再認識させてくださった、240グループのみなさんに、あらためて感謝するとともに、末永いお付き合いをお願いします。

人生も無線も先輩でいらっしゃるみなさんの末席に、「至らない老けた新人」の私をいつまでも座らせておいてください。

よろしく願いいたします。